

「ってきます」そして「ただいま」

中津市長 奥塚 正典

新聞に中津市の広告を出しました。中津出身の若い2人の実話をもとに写真は中津駅ホームでの撮影です。高校を卒業し生まれ育った中津を出る男子学生の「ってきます、中津」。これは何かと思いながら次頁をめくると、「ただいま、中津」と女性が登場。中津を一旦離れたが、大好きなふるさとに帰り働くことになったのです。職員が考えた2面連続の仕掛けです。

広告のねらいは、「中津は活力と魅力あるまち。戻って来たいと思うあなたを待っています。そして中津はよいとこ、来てください」という中津大好きメッセージです。幸い中津市は出生率が高く若者が多い。日本の総人口が減る中、人口増とはいきませんが、最近では中津から市外へ出る人より入ってくる若い人が多い。中津出身で地元に戻ってくる人、働く場所が中津にあり住む人がいるからです。多くの自治体ではどの年代も人口が減っているなかで中津が持っている強みです。

この強みを生かして、これからとも「人を育てる」ことが大切です。そのためには、子どもを産み育てやすい環境づくりと、中津を愛し知・徳・体を備えた人材を育てる教育環境の整備が大事です。また同時に中津に住みたいと思う人に働く場、仕事があればなりません。企業誘致や地場産業の振興を図り、できるだけ多くの人々が働きたいと思う魅力ある「仕事をつくる」

ことにより経済や消費を盛んにすることも必要です。

中津が住みやすく楽しい、次世代が生まれる、よい教育が受けられる、家族や友人がいる、仕事がある、食べ物がおいしい、将来も安全・安心である、こんな暮らし満足をさらに増やしたいものです。

若い2人へ、「いってらっしゃい」そして「おかえり、中津で幸せに」。

